

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		仙台市大野田たんぽぽホーム		公表日		令和8年3月19日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・快適に過ごせるように配置等工夫している		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・日々の利用人数に応じて柔軟に配置する環境になっている ・他園からヘルプをいただいて運営が出来た日もあったが、ヘルプをいただけなかった時はホーム全体で職員配置を工夫した	・欠員の状況が続いているため、対策を考えていく必要があると思う ・他ホームからヘルプ職員に来てもらったことで対応したが、法人で情報を共有し、臨機応変に対応出来るようにすることが必要だと思う	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・クラスの子どもに合わせた環境構成を行っている ・年度途中でも、子どもの成長に合わせた構造化した環境を作ることができた		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・快適に過ごせるよう、安全、清掃、消毒に努めている		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・室内をパーテーションで区切ったり、必要時には別室で対応している ・空きがあれば使用できる環境になっている		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・研修を行ったり、日々の活動の中でPDCAサイクルを意識できるようにした	・全体に周知はしているが、個人の捉えに差があるように感じるため、繰り返し伝えていたり、伝え方を工夫していく必要があると思う	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・保護者からの意見は全員で確認し次へと繋げている		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・個別面談の機会を定期的に設けている		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		・市の指導を受けており、指摘を受けたことは職員で共有し業務に繋げている		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・園内や法人、仙台市の児童発達支援センター共通の研修を開催し、参加を促している	・受講の機会は与えているが勤務時間によっては参加が難しい場合があるので、開催時間の検討やオンラインでの受講も考えていく必要があると思う	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・作成し、施設内とHP上にて公表されている		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		・共通の書類を使用してアセスメントを行い、それを基に支援計画を作成している		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・クラス職員の意見等をしっかり反映し、内容を共有してきた		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・支援計画は全員に回覧し共有されており、それを基に支援を行っている		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		アセスメントシートを使用している他、日々の活動で姿を確認している		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・ガイドラインに沿って設定している		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・クラス単位で行っている		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・様々な経験が出来るように1か月の中でバランス良く設定している	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		・個別活動と集団活動を組み合わせ作成し支援をしている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・打ち合わせは前日と当日に必ず行っている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・振り返りも当日に必ず行い、次回に生かしている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・個人のケース記録、クラス日誌に記録をとっている	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・支援計画の見直しの際には行い、次回の作成に生かしている	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・クラス担任や園長、主任が参加するようにしている	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・関係機関と連携して支援を行う体制をとっている	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・移行支援を行っている。その際には、支援内容を共有し相互理解に努めている	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		該当者なし	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	○		・会議や研修等で連携を図っている	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		・積極的に研修を受講したり、専門家からの助言を受けている	
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		・担当者が可能な範囲で参加するよう努めている	
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		・定期的に交流する機会を設けている	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・子どもの状況は常に保護者と共有し、共通理解の元に支援を行うようにしている	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・年間を通して保護者の研修の機会を設けており、情報提供も行うようにしている		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・入園時に説明し、施設内にも提示している	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・モニタリング時に、子どもや保護者の意向を聞いている	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○	・支援計画を提示しながら説明を行い、保護者から同意を得ている	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○	・定期的に面談は行い、必要に応じて助言と支援を行っている	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○	・保護者会は開催していないが1日の中で保護者同士が交流する時間はも受けている。またきょうだいへの支援を行っている	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○	・相談にはタイムリーに対応する旨を周知し、対応している	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○	・毎月、園だよりを発行し、活動の様子や行事予定を発信している	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○	・記録や、USBは鍵付きの引き出しに保管し、外部に持ち出さないなど扱いは慎重に行っている	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○	・一人ひとりに合わせた支援を行うよう努めている	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○	・行事には招待してはいるが、必要時に駐車場を貸すなど協力している	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	・職員は研修・訓練を行い、家族にはマニュアルを施設内に提示することで周知している	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○	・策定し訓練を行っている	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○	・保護者より入園時や変更があった場合に知らせてもらい、確認している	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○	・給食提供をしていないため、医師の指示書はもらっていないが、情報は職員全員で共有し、保護者からの申し出に基づいて対応している	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○	作成しており、それに基づき安全管理を行い支援を行っている	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○	・施設内に提示し周知している	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○	・事故があった場合は全員で共有し、再発防止に努めている	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○	・園内で1か月に1回、虐待防止委員会を開催し虐待状況を把握し未然に防ぐ方法を検討したり再発防止に努めている。研修もを行っている。また年に2回6園合同の虐待防止委員会を設けている	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○	・支援計画への記載に加え、必要な児には別紙を用いて、説明・確認を行っている		